第1回教育講座「学校統廃合・小中一貫教育大阪交流集会」感想

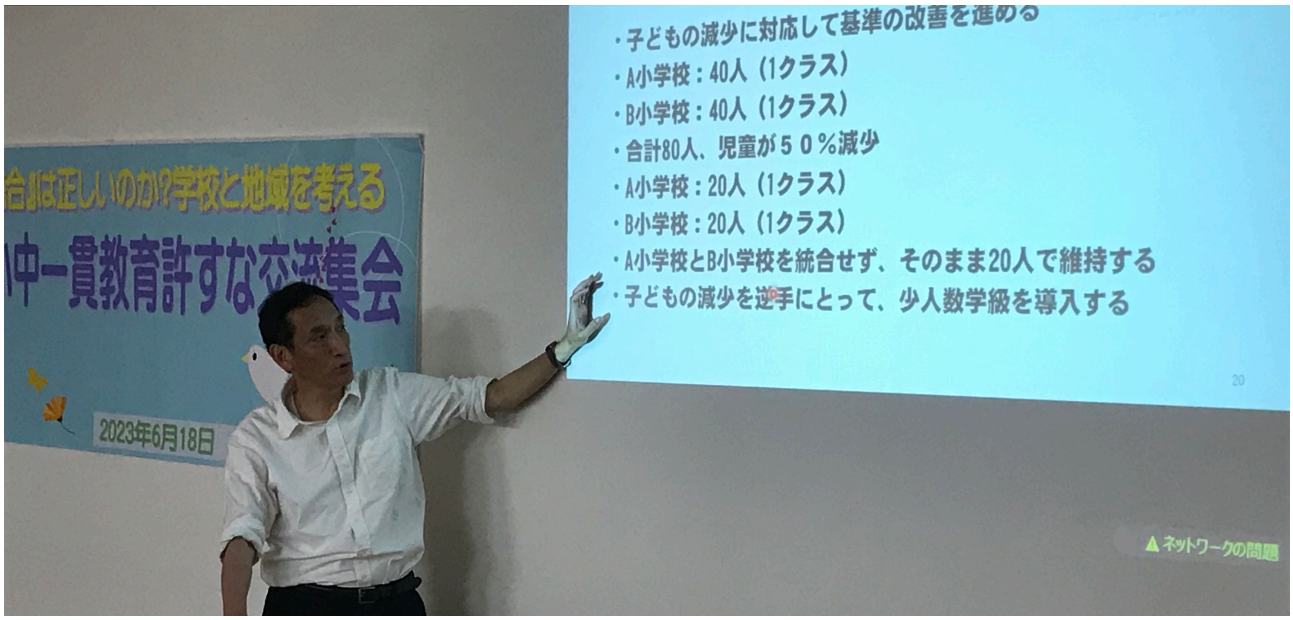
根本問題がスッキリ整理された

●中山さん講演　根本問題がスッキリ整理されました。
開会挨拶を文書に提供して頂けたらありがたいです。府内の様子，最近の特徴がコンパクトにまとめて報告されてよかったです。（㊟資料に同封してあります）

報告＝府立高校統廃合問題を共有化し，私たちの課題を明らかにするために別の機会にでも報告いただき，論議できたらと思います。
全体＝交流の時間が足りなかったですが，定例の教文センターの研究会に参加していただけたらと思います。大変ですが，その都度，研究会の内容をニュースにしてもらえたらと思います。

学校がゆがめられることに憤り

●施設一体型一貫校の建設には，ものすごいお金がかかります。寝屋川では，76億円の予算です。行政はこの大きなお金を動かすために，小中一貫教育は効果があるのだから，学校を建設するのでという論理を展開するために，小中一貫教育の「成果」を無理やりにつくってきたと思います。これは，端的に言えば，「ウソ」だと思っています。「ウソ」を通すために教師を黙らせ管理し，「ウソ」の発表会を大々的に行い，大きなお金を動かしてしまったのです。本当にまちがっていると思うし，子どもが犠牲になっていると思います。寝屋川では土建市長の下で，この計画が推しすすめられましたが，その後市民の声を聞く市政に変わり，学校建設は止められませんでしたが，教育上の矛盾を少しでも小さくするようとりくみました。例えば，校舎棟は小，中で切り離すなどです。教育以外の政治的な動きの中で，学校がゆがめられることに憤りを感じます。



●中山先生のお話，非常によかったです。長期的展望が見られた。

それぞれで建て替えればいいのに

●守口も2校目の義務教育学校がつくられる計画が進んでいます。2小1中の統合です。市教委は，現在の校舎の老朽化を理由にしています。それぞれの小中学校をそこで建て替えればいいと思いますし，少人数学級で教育条件がよくなっていいと思います。地域の人たちと頑張って取り組んでいきたいと思います。

●とてもよかったです。小規模校でこそ教育環境を改善し，教職員の労働条件も改善できる，ということに確信を持って運動していきたいです！

一貫校そのものの学習も必要

●岸和田の報告にあった「新たな山手の小中一貫校」の提案のある小学校に来年，一年生として入学する子を持つ親として参加しました。今回の学習会は反対運動の学習会として受け入れて聞かせてもらいました。が，子どもが行くであろう一貫校は施設分離型一貫校で，私が知っているその学校の先生に内容を聞いても「一貫校になっても何も変わらない」と教委からの上意を下達するだけになっていて，親としては「ほんまにそうなんか？」「変わらないならやるな」「後々の意図があるから今から何か布石を打ってるんやろ」と思ってしまいます。（親と学校の分断）今までも数々あったと思いますが，いろいろな形の一貫校そのものの学習も必要と感じました。統廃合，一貫校問題は当事者となる親が少なく，全体的な運動になりにくいところが頭が痛い，新しいことやから，とりあえず良さそう，のような意見も多い（親同士の分断）ので，いろいろ考えさせられます。

構造的な人口減少に深刻さを実感

●中山先生の「構造的な人口減少」で今後数十年にわたることを改めて認識し、深刻さを実感しました。
万が一、「異次元」の対策が効を奏したとしても，遠い将来にしか結果が出ないこともよく理解できました。
豊中の一貫校での弊害を教員・保護者両者から現場の報告していただき、もっともっと知り・知らせる必要を感じました。